



エバラ食品グループの 事業概要と成長戦略

2026年 2月 25日

エバラ食品工業株式会社

証券コード：2819

本日の内容

① 会社紹介／事業概要

② 当社の強み

③ 長期ビジョン／中期経営計画

④ 業績推移／業績見通し

⑤ 株主還元

⑥ サステナビリティ

① 会社紹介／事業概要

② 当社の強み

③ 長期ビジョン／中期経営計画

④ 業績推移／業績見通し

⑤ 株主還元

⑥ サステナビリティ

経営理念／会社概要

■ 経営理念 「**「こころ、はずむ、おいしさ。」**の提供

わたしたちは、お客様への情熱とチャレンジ精神を力に、「人を惹きつける、新しいおいしさ」と「期待で胸が膨らむ、ワクワクするおいしさ」を通じて人と人との絆づくりの機会を広げていきます。

■ 会社情報

商号	エバラ食品工業株式会社
本店所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい四丁目4番5号
代表者	代表取締役社長 森村 剛士
事業内容	調味料食品の製造販売
設立	1958年(昭和33年)5月
連結従業員数	870名(2025年3月31日時点)

こころ、はずむ、おいしさ。



「おいしいものをさらにおいしく」のもと、事業を通じて「こころ、はずむ、おいしさ。」を提供

当社の提供価値と代表的な商品

「焼肉のたれ」「黄金の味」

当社を象徴するベスト&ロングセラー
「家庭で焼肉を食べる」という食文化を創造し、
家庭用焼肉のたれという市場を作り上げた商品



1968~

「焼肉のたれ」発売

1978~

「黄金の味」発売

提供価値

創業者の斬新な発想により、
家庭で焼肉という
これまでにない食文化を創造

ポーション調味料

「プチッと鍋」「プチッとうどん」など

2013年度に発売以来、高まる個食ニーズに適した
ポーションタイプが圧倒的な支持を受け、現在に至る
まで売上を伸ばしている商品
2024年度には「プチッと中華」シリーズを発売



2013~

ポーション調味料 発売

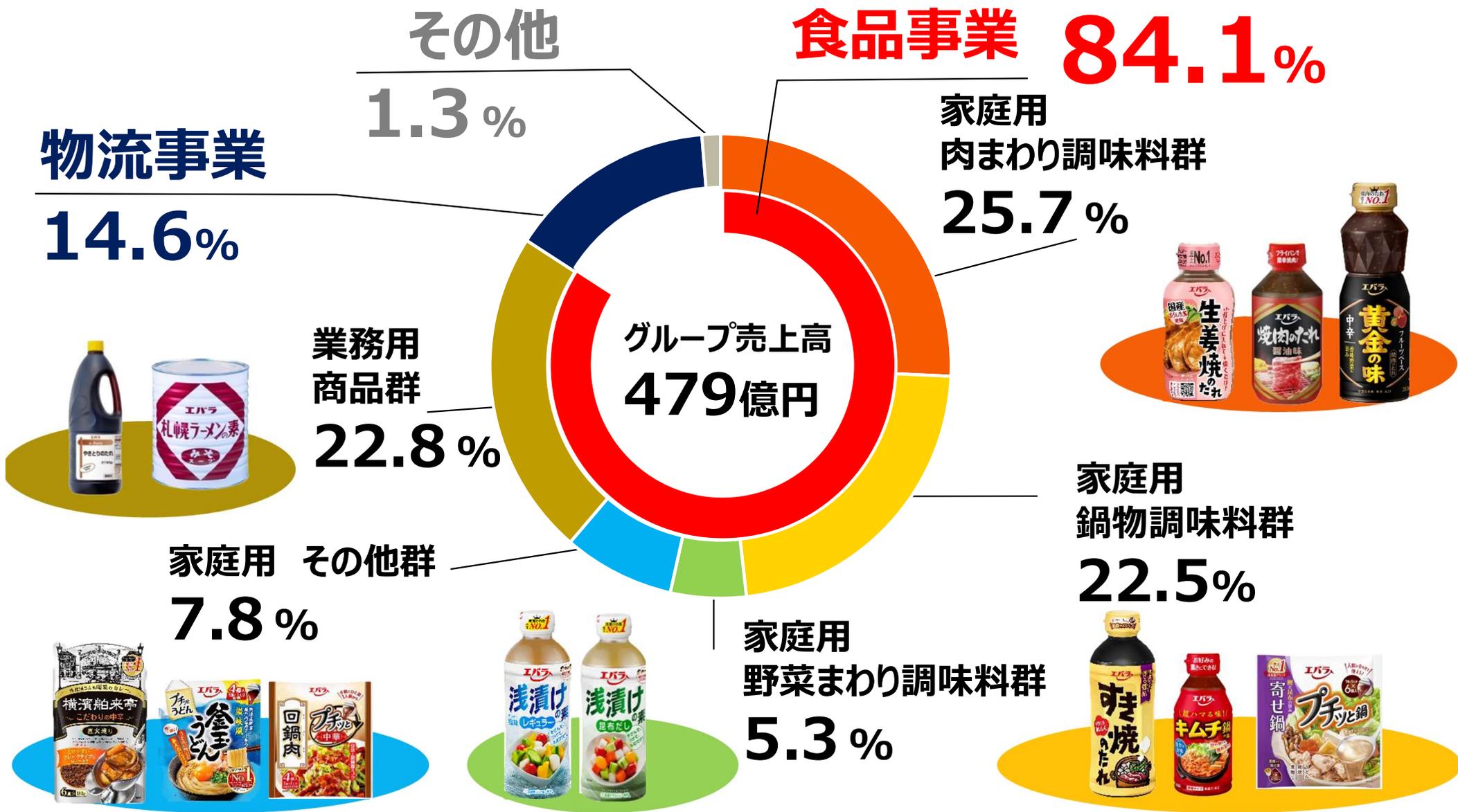
提供価値

家族形態の変化や
多様化する消費者の嗜好など、
きめ細かい時代のニーズに適合した商品



創業より豊かな食生活の実現に向け新価値創造に挑戦

売上構成比 2024年度



食品事業は家庭用商品が約8割。肉まわりだけでなく、鍋や野菜まわり等、幅広く展開

エバラのトップシェア商品

ニッチ&トップ戦略：ニッチな市場を創造し、そこでトップシェアを獲得する



本日の内容

① 会社紹介／事業概要

② 当社の強み

③ 長期ビジョン／中期経営計画

④ 業績推移／業績見通し

⑤ 株主還元

⑥ サステナビリティ

トピックス：人気TV番組『ジョブチューン』に初参加

2025年11月29日放映の人気TV番組『ジョブチューン』「冬の3社鍋対決」に参加、7名のプロの料理人が試食の上、ジャッジ

当社は出品した5つの商品で**すべて合格を獲得**、うち**4品で満場一致**の合格



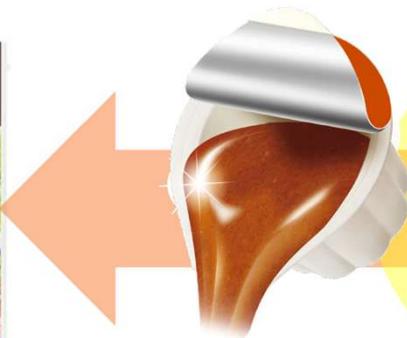
	商品名	タイプ	審査結果
1	プチッと鍋 濃厚みそ鍋	ポーション	全員合格
2	プチッと鍋 豆乳ごま鍋	ポーション	全員合格
3	なべしゃぶ	小袋	全員合格
4	キムチ鍋の素	ボトル	全員合格
5	坦々ごま鍋の素	ボトル	合格



Perfect!!

当社の強み（高濃度濃縮技術の深化）

1958年の創業以来、「札幌ラーメンの素」などの開発で培ってきた「濃縮技術」がエバラ食品の強みのひとつ



「濃縮技術」

レトルトや粉末ではなかなかできない希釈しても、風味や香りを残す技術



炒めた野菜がベースに入っているだけでこんなにちゃんとスープとしての表現ができるんだな。

鍋つゆ市場の主流はストレートパウチだが、ポーション調味料は、20mlに濃縮し、食べるときには希釈しておいしく食べられる技術が必要



味噌をドライにして使わず本来のものをそのまま閉じ込めているので、味噌の美味しさが前面に出てる。日本ってすごいなと。



8倍に濃縮



当社の強み（充填技術の進化マップ）

◆ポーション調味料の進化

容器・具材の多様化

2016年度～

高粘度の品質に対応



40mlポーション
(設備投資)

2021年度～

ひき肉等の
具材充填が可能に



具入りタイプ
(40mlポーション)



NEW



NEW

2013年度～



20mlポーション



2024年度～



カテゴリーの多様化（鍋→ステーキソース→うどん→中華）

多様な容器の開発と充填技術の革新により、製品ラインアップの可能性を拡大

ポーション調味料のカテゴリー拡大 (全体像)

津山工場(岡山県)のポーションラインは2024年10月稼働開始後、順調に量産へ

津山工場で稼働開始したポーションライン



ポーション調味料の価値の拡大



NEW **NEW** **NEW** **NEW** **NEW** **NEW**

NEW **プチッと中華 (2024年度～) 8品** **NEW**



NEW **プチッとうどん (2015年度～) 12品** **NEW**

※季節限定商品および地域限定商品を含む

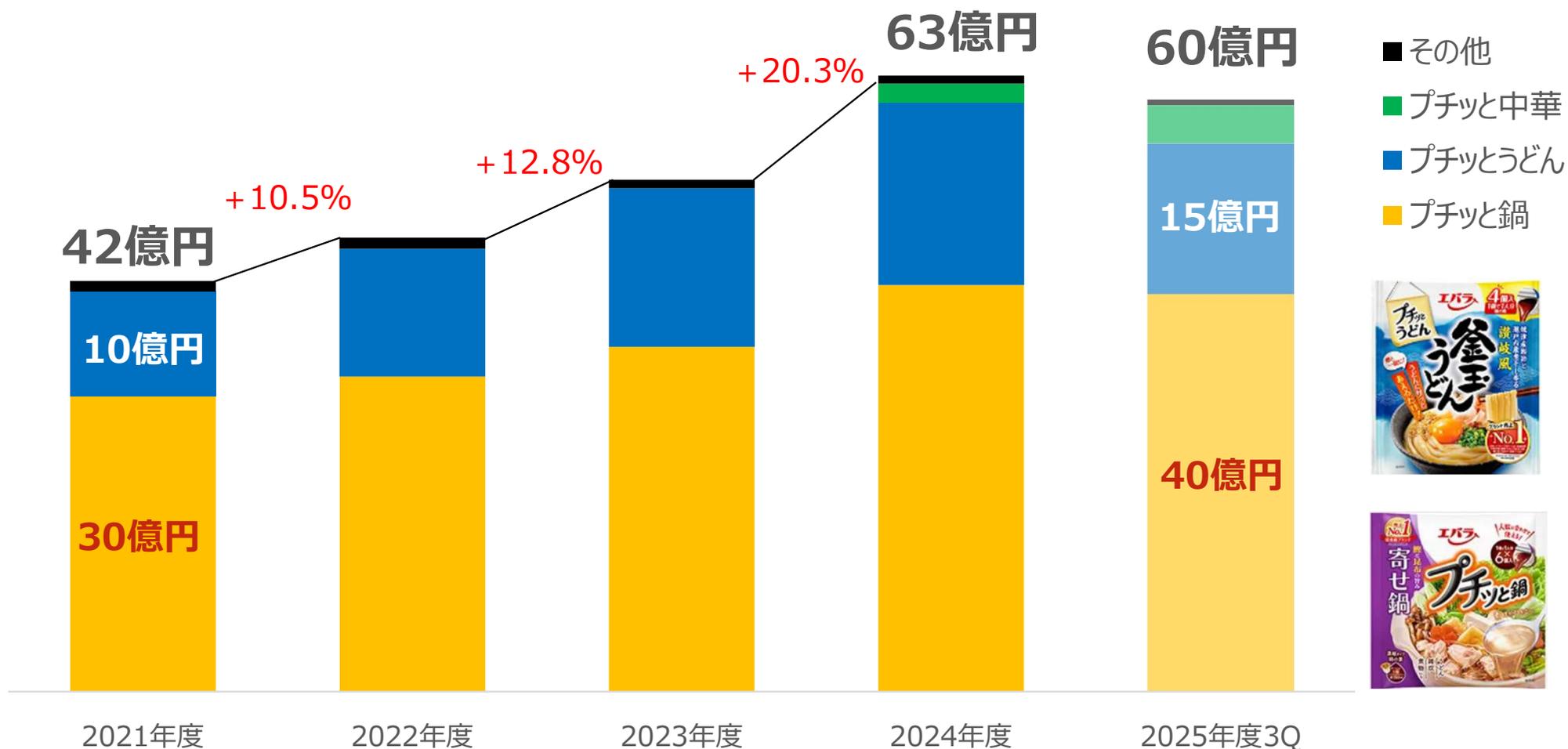


プチッと鍋 (2013年度～) 10品 ※季節限定商品および地域限定商品を含む



ポーション調味料のカテゴリー拡大（売上高）

2013年度の発売以来、**年々市場規模を拡大**
直近5年間でも**1.5倍の増加**、今期着地も前期を超える見込み



本日の内容

① 会社紹介／事業概要

② 当社の強み

③ 長期ビジョン／中期経営計画

④ 業績推移／業績見通し

⑤ 株主還元

⑥ サステナビリティ

エバラ食品グループの長期ビジョン(2024-2033年度)

ミッション

- 1 ヒトづくりとグループ連携—人材育成とグループシナジーの発揮
- 2 モノづくりの改革 — 大量生産から多品種少量生産に対応
- 3 新領域開拓— 健康領域を初めとした新たなビジネス創出
- 4 海外の成長— アジアでのエバラブランドの浸透と他地域展開
- 5 迅速な経営体制—データ活用型経営・業務プロセス改革

2033年度にありたい姿

**おいしさ、たのしさ、あたらしさで
食カテゴリーを創造する企業**

独自性のある商品・サービスで
人々の食生活に貢献し、
社会に必要とされる存在へ

連結
数値目標 EBITDA **60億円水準**
ROE **7%以上**

Final Phase
(2030~2033)
最高益更新

Next Phase
(2027~2029)
新領域開拓
事業成長

First Phase
(2024~2026)
成長への
基盤固め

中期
経営計画

Ebara Reboot 2026

連結
数値目標

EBITDA(営業利益+減価償却費) **40億円**
海外売上高比率 **5%以上**
総還元性向 **50%以上**

中期 経営計画

Ebara Reboot 2026

重要方針

「売上拡大 = 利益獲得」ではなく、
「適正な経営資源投下による売上形成・利益最大化」に取り組む

グループ 基本戦略

1. 既存事業/領域を磨き上げ、高収益化を追求
2. 新市場/新価値創造による新たな成長軌道の確立
3. 従来 of 枠組みに捉われない経営基盤改革の深化

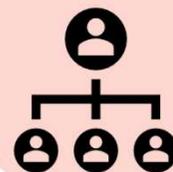
既存事業



新価値創造



人的リソース



ICT化



プロセス改革



連結数値目標

EBITDA 40億円 海外売上高比率 5%以上 総還元性向 50%以上
(営業利益 + 減価償却費)

海外売上高の推移

海外売上高比率 5%以上を掲げ、着実に売上を拡大



2024年8月に稼働を開始したタイ工場



タイ工場 製造商品

20億円を達成

タイに工場を設立

11億円



EBARA SINGAPORE PTE. LTD.を設立



EBARA FOODS (THAILAND) CO., LTD.を設立



EBARA FOODS MALAYSIA SDN. BHD. を設立

2018年度

2019年度

2020年度

2021年度

2022年度

2023年度

2024年度

2025年度

Unique 2023

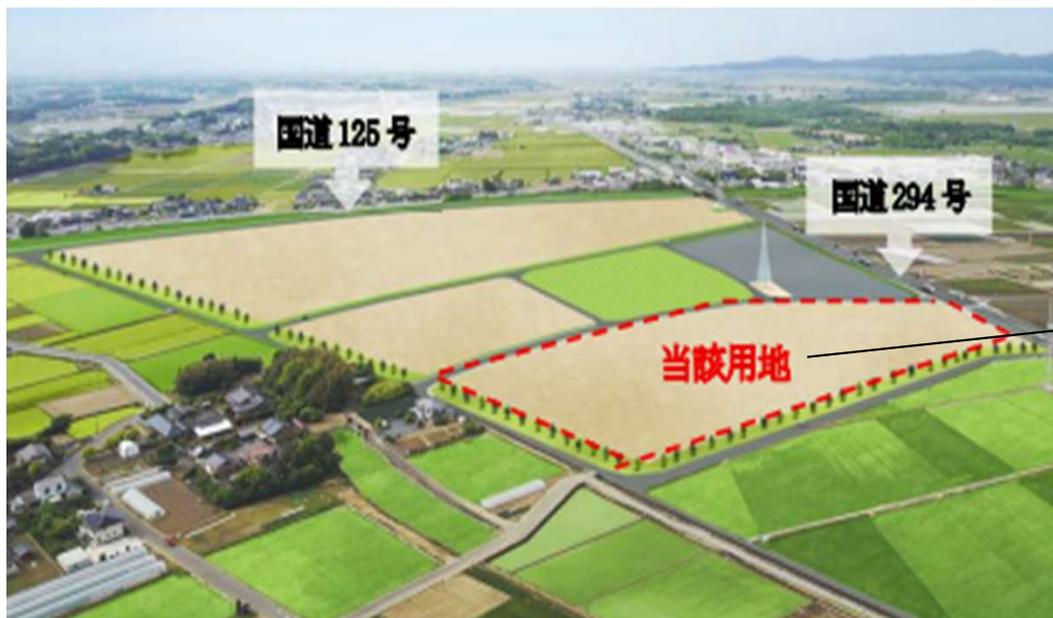
Ebara Reboot 2026

製造体制再編に伴う投資

茨城県「しもつま中央工業団地」に用地を取得し、新工場を建設予定

- ・中長期的な成長の中核を担う最新鋭のモノづくりの拠点として大量生産から多品種少量生産まで対応
- ・当社の工場用地としては最大規模の面積（61,125.45㎡）
- ・第1期の稼働時期は、2028年度頃を予定

群馬工場の操業停止（2027年3月頃）を決定し、グループ内外の最適地に生産を移転



本日の内容

① 会社紹介／事業概要

② 当社の強み

③ 長期ビジョン／中期経営計画

④ 業績推移／業績見通し

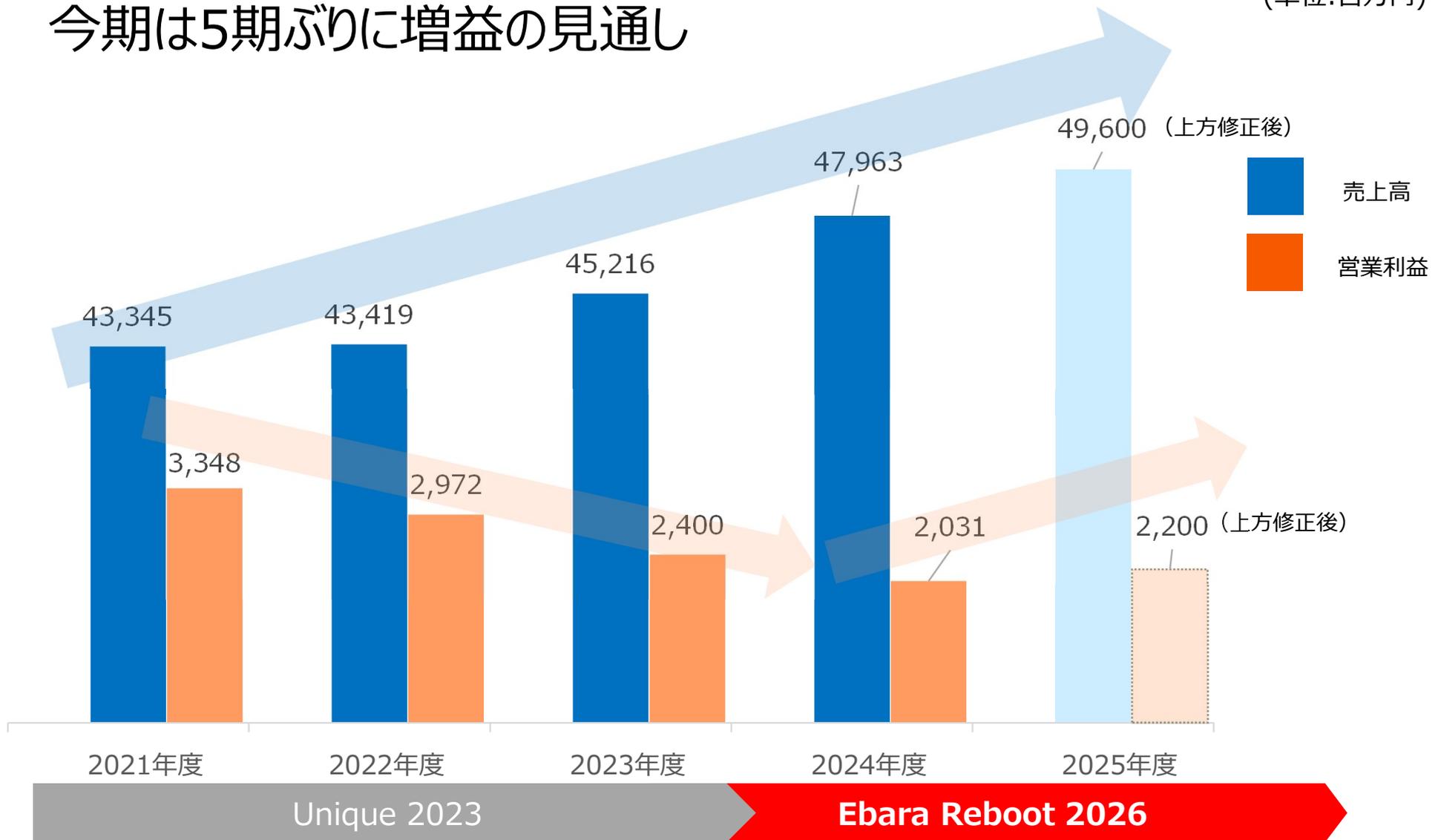
⑤ 株主還元

⑥ サステナビリティ

業績推移

(単位:百万円)

今期は5期ぶりに増益の見通し



第3四半期までの実績と足元の動向を踏まえ、通期業績予想を上方修正

	前回発表予想 (A) 2025年11月6日開示	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)
売上高	48,800	49,600	800	1.6
営業利益	1,700	2,200	500	29.4
経常利益	1,900	2,500	600	31.6
当期純利益	1,300	1,700	400	30.8

(修正の理由)

- ・家庭用商品の鍋物調味料群等の貢献に加え、業務用商品の伸長もあり、売上が計画を上回る
- ・第4四半期の販売動向や投下費用を加味した結果、利益面も業績予想を超過

セグメント・製品区分別 売上高

単位：百万円

当第3四半期において、鍋物調味料群の売上高累計が肉まわり調味料群を上回る

事業名称および商品群名	(代表商品)	連結会計期間	連結会計期間	増減	増減率
		(2024年4月 ~2024年12月)	(2025年4月 ~2025年12月)		
食品事業		32,322	33,855	1,533	4.7%
家庭用商品		23,736	25,011	1,275	5.4%
肉まわり調味料群	(焼肉のたれ / 黄金の味 / おろしのたれ)	9,685	9,521	▲164	▲1.7%
鍋物調味料群	(プチッと鍋 / すき焼のたれ / キムチ鍋の素)	9,094	9,923	829	9.1%
野菜まわり調味料群	(浅漬けの素/キムチ漬けの素)	2,212	2,274	62	2.8%
その他群	(プチッとうどん / プチッと中華 / 横濱舶来亭)	2,744	3,291	547	19.9%
業務用商品		8,585	8,843	258	3.0%
肉まわり調味料群	(焼肉のたれ / 黄金の味 / ステーキソース)	2,600	2,554	▲45	▲1.7%
スープ群	(ラーメンスープ / がらスープ)	2,640	2,843	202	7.7%
その他群	(キムチ鍋の素 / 浅漬けの素 / カレーフレーク)	3,344	3,444	100	3.0%
物流事業		5,377	5,219	▲157	▲2.9%
その他		499	481	▲17	▲3.5%
合計		38,198	39,556	1,357	3.6%

新商品紹介（肉まわり調味料群の販売強化）

◆焼肉の体験価値の拡大

『黄金の味 焼肉たれポン酢』

定番の強化による間口の拡大



『黄金の味 焼肉たれポン酢』と『焼肉堪能』シリーズで、

従来の『黄金の味』が捉え切れていなかったニーズに対応

『焼肉堪能』シリーズ



インジェクション製法※や複数の風味素材の相乗効果による
焼肉のおいしさに没頭することができる「没入体験焼肉のたれ」

本日の内容

① 会社紹介／事業概要

② 当社の強み

③ 長期ビジョン／中期経営計画

④ 業績推移／業績見通し

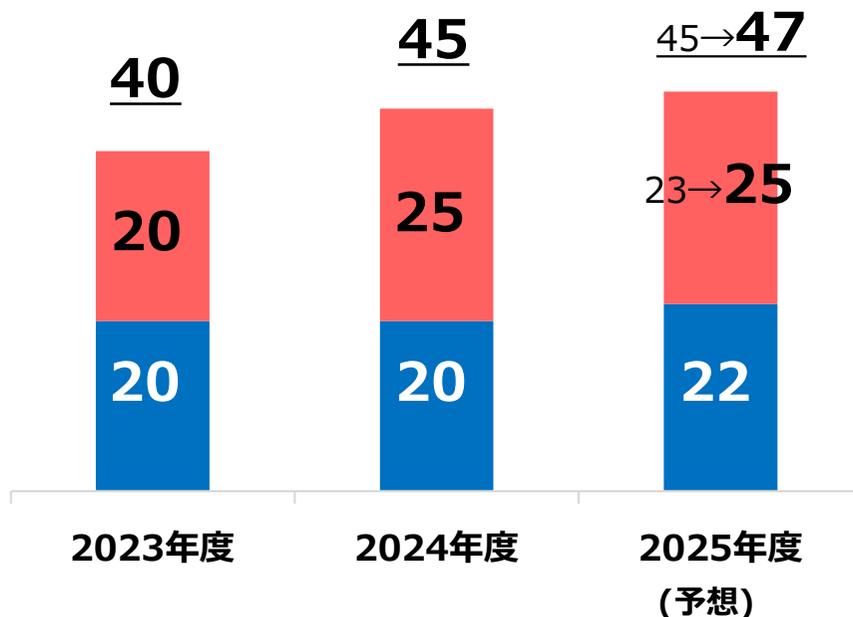
⑤ 株主還元

⑥ サステナビリティ

株主還元

◆ 1株あたりの配当金額の推移(円)

■ 中間配当 ■ 期末配当



配当総額 (百万円)	392	439	459
配当性向	21.8%	31.4%	27.0%
自己株式取得額 (百万円)	0	177	106
総還元性向	21.8%	44.1%	33.3%

◆ 2025年3月31日基準日のご優待品 (※)



※1,000株以上の優待品の事例
販売価格5,000円相当の当社商品セット

◆ 保有株式数に応じた株主優待制度

保有株数	優待内容
100株以上300株未満	1,000円相当の当社商品セット
300株以上1,000株未満	2,000円相当の当社商品セット
1,000株以上	5,000円相当の当社商品セット

株主還元指標として総還元性向を採用、期末配当金を期首予想に対し2円増配

本日の内容

① 会社紹介／事業概要

② 当社の強み

③ 長期ビジョン／中期経営計画

④ 業績推移／業績見通し

⑤ 株主還元

⑥ サステナビリティ

環境配慮型PETボトルの採用

「ケミカルリサイクルPET」を使用した新容器を開発し、新商品「焼肉堪能400g」へ採用
 環境配慮の取組みとして、CO₂削減に貢献していく。PETボトル再利用品マーク付与予定



容器造時CO₂排出量 **25%減**

➡ PETボトル協議会認定・PETボトルリサイクル推奨マーク表示予定

環境／社会貢献活動

◆ 包装材料の使用量削減



◆ 鍋物調味料群のPETボトル化



◆ 食育活動の様子



統合報告書「VALUE REPORT2025」について



パソコン・タブレット・スマートフォンからアクセス

エバラ 統合報告 で検索

<https://www.ebarafoods.com/company/ir/library/integrated/>

こころ、はずむ、おいしさ。

エバラ

- ※ この資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記載は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
- ※ 本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。
- お問い合わせ先：広報IR部（TEL 045-226-0240）